

# 財務諸表に対する注記

## 1. 重要な会計方針

### (1) 固定資産の減価償却の方法

什器備品、ソフトウェア、商標権・・・定額法

リース資産・・・・・・・・所有権移転外ファイナンス・リース取引に係る資産についてはリース期間を耐用年数として、残存価額をゼロとする定額法

### (2) 引当金の計上基準

賞与引当金・・・・・・・・職員に対する賞与の支給に備え、支払見込額のうち当期に帰属する金額を計上している。

退職給付引当金・・退職給付に係る見積債務額から年金資産額を控除したもの。

### (3) 消費税等の会計処理

消費税等の会計処理は税込み方式によっている。

## 2. 基本財産及び特定資産の増減額及びその残高

基本財産及び特定資産の増減額及びその残高は、次のとおりである。

(単位：円)

科 目	前期末残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高
基本財産				
定期預金	3,000,000	0	0	3,000,000
合 計	3,000,000	0	0	3,000,000

## 3. 基本財産及び特定資産の財源等の内訳

基本財産及び特定資産の財源等の内訳は、次のとおりである。

(単位：円)

科 目	当期末残高	(うち指定正味財 産からの充当額)	(うち一般正味財 産からの充当額)	(うち負債に対応 する額)
基本財産				
定期預金	3,000,000	(0)	(3,000,000)	—
合 計	3,000,000	(0)	(3,000,000)	—

## 4. 固定資産の取得価額、減価償却累計額及び当期末残高

固定資産の取得価額、減価償却累計額及び当期末残高は、次のとおりである。

(単位：円)

科 目	取得価額	減価償却累計額	当期末残高
什器備品	1,807,300	1,485,543	321,757
ソフトウェア	3,246,375	2,817,636	428,739
商標権等	346,196	346,196	0
合 計	5,399,871	4,649,375	750,496